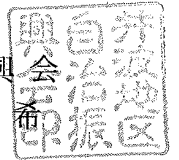


平成22年 5月21日

南砺市長 田 中 幹 夫 様

井波地区自治振興
会長 横 川 正



井波地区町内会長連絡協議
会長 高 桑 栄



要 望 書

日頃から、井波地区の生活基盤整備にご配慮賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、旧井波町は、過去の豪雪経験から降雪時期における市街地の孤立防止や緊急車両通行確保などを実現するため、各種の克雪対策に取り組んできました。その結果、境川ダム建設に伴う水利権の確保、克雪用水と防火用水の貯留施設としての大型貯水槽の建設整備、消雪装置整備及び流雪溝整備が実施されてきました。

しかし、井波地区内の高齢化も進み、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増え、さらに、核家族化の進展や環境の良い住宅地への転居により、市街地には空き家や空き地が増え、道路除雪も実施されていない箇所が年々増加している状況となっています。

このようなことから、井波地区の各町内会から南砺市へ提出されています要望は、町内の生活道路に消雪装置を整備する等、克雪対策に関する要望が中心となっています。

平成21年9月に井波地区自治振興会では、克雪用大型貯水槽の整備、消雪装置の整備及び消雪装置のリフレッシュ工事を要望しましたが、南砺市からは、「水量調査や現地の状況把握など行い、市の消雪計画を策定し、その後において優先順位を決めて進める。」とし、平成26年度までに着手できないと回答がありました。

また、各町内会から市へ提出された消雪装置の整備要望に対する回答も同様のものとなっています。

一方、平成21年度に南砺市では、井波地区市街地の克雪用水に関し、業務調査委託を実施されましたが、その内容は、克雪用水の容量不足のため、これ以上の消雪装置整備は困難であると聞いています。

現在計画が進められています都市計画道路谷・今町線の地元説明会では、消雪装置の整備を行うと説明されていますが、現状は克雪用水の不足から、消雪装置の整備もできない状況となっています。



以上のことから、都市計画道路谷・今町線整備促進と冬季間における生活道路の確保を推進するため、次のとおり要望します。

1. 消雪装置整備道路の決定

今後整備される井波地区市街地の消雪装置整備予定道路は、「南砺市道路消雪施設及び管理に関する規則」に規定する設置基準にこだわることなく、基本的に、市道環状線の内側及び山見住宅団地の全生活道路を対象としていただきたい。

2. 消雪装置整備道路の克雪用水区分の決定

今後整備される消雪装置の利用用水については、河川水を含めた利用を検討し、克雪貯水槽の利用か、河川水利用か、早急に方向性を決定していただきたい。

3. 克雪用水の水量調査業務

平成22年度において、井波地区市街地の消雪装置に必要な克雪用水を把握するため、水量調査業務を実施し、必要な大型貯水槽の容量を決定していただきたい。

なお、調査業務委託の実施にあたっては、上記の「消雪装置整備道路の決定」及び「消雪装置整備道路の克雪用水区分の決定」を行い、業務を発注していただきたい。

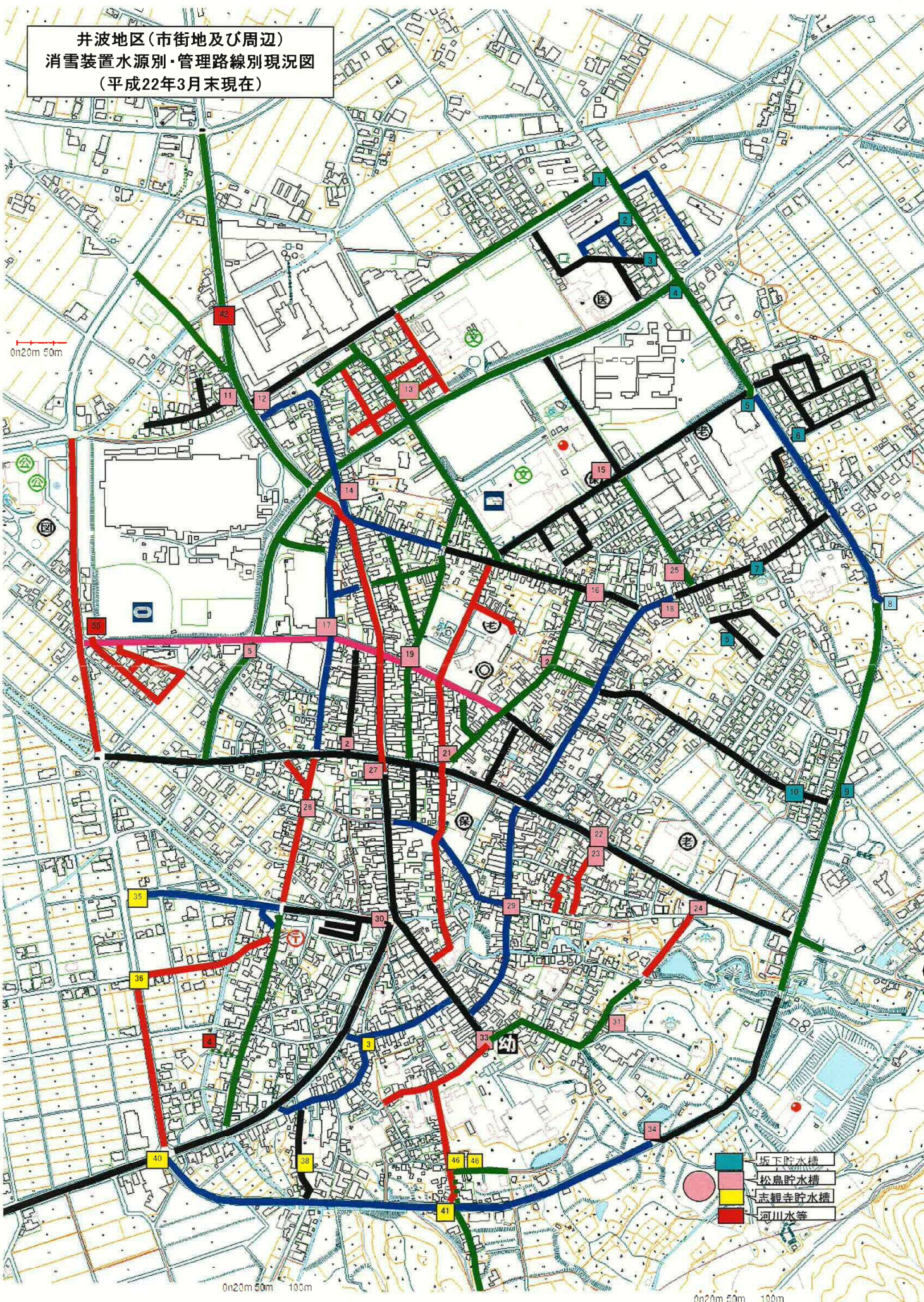
4. 大型貯水槽の建設整備

水量調査業務により決定した大型貯水槽を、合併特例債が利用できる平成26年度までに、建設整備していただきたい。

5. 消雪装置の計画的整備促進

消雪装置整備にあたっては、整備計画を早急に立て、まちづくり交付金や各種補助制度、合併特例債などを活用し、積極的に整備していただきたい。

井波地区(市街地及び周辺)
 消雪装置水源別・管理路線別現況図
 (平成22年3月末現在)



井波地区(市街地及び周辺)

消雪装置整備計画(提案)

水源別消雪整備計画(貯水槽or河川水)

